第二十二回 奥の細道矢立初め全国俳句大会

事前投句締切（当日消印有効）
平成二十八年 一月二十日（水）

大会・表彰式
平成二十八年 三月二十七日（日）

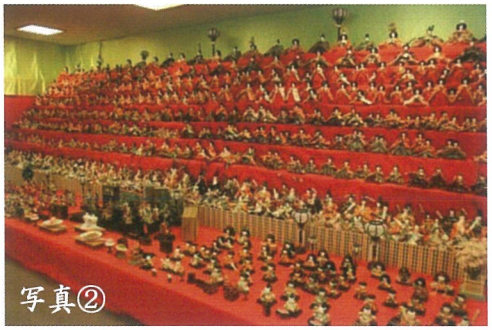
松尾芭蕉「奥の細道」前途三千里旅立ちの舞台、千住。
この俳聖芭蕉の偉業を称え、俳句文化の興隆と歴史の継承を願い、所縁ある素盞雄神社の境内に於いて、《弥生も末の七日》の矢立て御縁の日に開催致します。
皆々様お誘い合せの御参加をお待ち申し上げます。

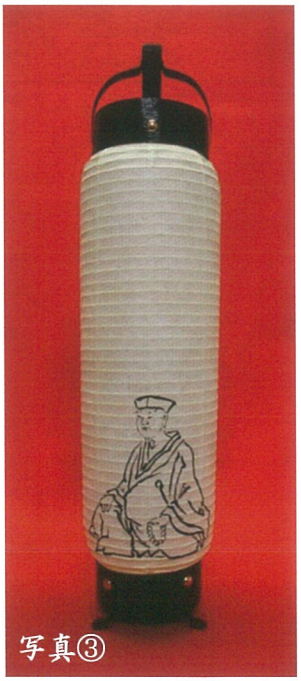
献句札お焚き上げ(写真①) 当日句会では投句作品を木札に記し芭蕉翁に献句します。
前回大会から一年間お供えした献句札は翌年の大会において浄火により焚き上げます。

桃の節供(写真②) 紅白に咲き競う桃の花をお供えに、氏子崇敬者から御奉納の1,500体を超えるお雛さまを境内各所にお飾りしています。

事前募集句副賞弓張提灯(写真③) 事前募集句の優秀作品は、荒川区登録無形文化財の職人により芭蕉座像とともに弓張提灯に書き入れて贈呈致します。

写真①


写真②


写真③

主催　奥の細道矢立初め全国俳句大会実行委員会　　後援　荒川区・荒川区教育委員会・東京都俳句連盟・荒川区俳句連盟・ACC公益財団法人荒川区芸術文化振興財団・素盞雄神社　　協賛　東京商工会議所荒川支部

【事前募集句】作品募集要項

作品募集 雑詠「春一切」 未発表作品２句１組（複数組可）

投 句 料 ２句１組 1,000 円（小為替または現金書留使用）

投句方法 所定の投句用紙または 200 字詰め原稿用紙に**楷書ではっきりと**
「作品(ふりがな付)・郵便番号・住所・お名前(ふりがな付)
電話番号・大会当日の出欠」を記入・投句料を同封し郵送
※句集はお一人一冊お送り致します。
複数組投句された方で投句組数分をご希望の方は
投句用紙にその旨ご記入ください。
※投句用紙は「すさのお神社ホームページ」からも印刷できます。
http://www.susanoo.or.jp すさのお神社 俳句 検索

選　　者

大久保白村	東京都俳句連盟会長	星野高士	「玉藻」主宰
奈良文夫	「萬緑」運営委員長	武田伸一	「海程」編集長
坊城俊樹	「花鳥」主宰	大高　翔	「藍花」副主宰
小倉英男	「春嶺」主宰	稲畑廣太郎	「ホトトギス」主宰
大堀武直	奥の細道むすびの地俳句協会会長	対馬康子	「天為」編集顧問

（順不同・敬称略）

賞　大賞・荒川区長賞・東京都俳句連盟賞・東京商工会議所荒川支部会長賞
素盞雄神社賞・講師賞・入選 30 位まで （入選者には直接通知致します）
※応募句複数入選の場合は上位の一句に限らせていただきます。
※優秀作品は素盞雄神社境内・HP 等で御紹介致します。

投 句 先 〒116-0003 東京都荒川区南千住 6－60－1
すさのお神社内 俳句大会係 ☎ 03－3891－8281

締　　切 平成 28 年 1 月 20 日（当日消印有効）

大会・表彰式

開 催 日 平成 28 年 3 月 27 日（日）

午前 10 時 30 分	受付開始
午前 10 時 45 分	献句札お焚き上げ
正　午	当日句会投句締切
午後　1 時	大会(記念講演･表彰式)開会

記念講演 東京都俳句連盟会長 大久保白村 先生

当日句会 席題二句（投句締切：正午） 会費 1,000 円

大会当日の御出席
大久保白村先生・武田伸一先生・対馬康子先生 （順不同）

会　　場 すさのお神社参集殿

JR 常磐線･東京メトロ日比谷線･つくばエクスプレス「南千住駅」徒歩８分
ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽさくら「南千住駅西口」より「南千住図書館」下車

芭蕉座像　建部巣兆 画
奥の細道矢立初めの句碑
（荒川区指定文化財･素盞雄神社 蔵）